

I 総 括 編

第1 概 要

1 保健センターの歩み

昭和 39 年 「碧南市医師会健康教育連絡協議会」設置

碧南市医師会は、医療の将来あるべき姿を求めて、臨床医学的な医師活動から広く地域社会の保健活動を展開することとなり、市内の公民館等において健康教育映画会、講演会、座談会、並びに献血の会等を開催し積極的な地域保健衛生活動を展開する

昭和 42 年 「碧南市健康を守る会」発足

碧南市医師会健康教育連絡協議会は、地域婦人会の明るい家庭づくり運動にも呼応、市や保健所と連携して血液型判定や血圧測定を無料で実施するなど、市民の健康を守る事業を通して明るい家庭づくりの運動を支援する。健康教育連絡協議会のこれらの活動は地域各方面に認識を得るところとなり、行政、歯科医師会、薬剤師会、各種団体等の参画のもとに、発展的に組織を変更し、碧南市長を会長とする今日の姿の碧南市健康を守る会が発足することとなる
以来、逐次組織を強化し、本市の重要な保健事業は、碧南市健康を守る会の事業として推進することとなり、本市の特徴的な保健活動が展開されている

昭和 51 年 碧南市保健センター開設

刈谷保健所碧南支所が碧南保健所とし、昇格移転されるに伴い、保健所跡施設を整備して碧南市保健センターとして開設する

昭和 55 年 保健文化賞受賞

市民ぐるみの保健活動は、関係行政機関等の高い評価を得ることとなり、碧南市健康を守る会が第3 2回保健文化賞（第一生命主催、NHK及び朝日新聞社協賛）を受賞する

昭和 56 年 新保健センター建設

昭和5 1年開設の保健センターも健康を守る会の事業の拡大等によって手狭となったため、昭和5 4年度より新保健センター建設の検討に着手、厚生省の市町村保健センター整備事業（昭和5 3年度制度化）に基づいて碧南市保健センターを建設する

着工 昭和5 6年 5月 4日

竣工 昭和5 7年 3月2 0日

- 『碧南の保健』発刊
- 昭和 57 年 碧南市保健センター新築開設
4 月 2 日 保健センター竣工式を挙
新保健センターには、碧南市休日診療所、碧南市医師会館、碧南市医師会臨床
検査センターが併設され、市民の健康を守るための総合保健医療施設としての
活動を展開することとなる
- 昭和 62 年 碧南市健康を守る会 20 周年記念
彫刻“鳩”を保健センターに設置
- 昭和 63 年 碧南市健康を守る会『20 年のあゆみ』発刊
- 平成 2 年 『碧南の保健 第二巻』発刊
- 平成 4 年 碧南市健康を守る会『25 年のあゆみ』発刊
- 平成 6 年 厚生大臣表彰受賞
老人保健法による保健事業の推進に格別の努力が認められ、碧南市が厚生大臣
表彰を受賞する
- 平成 8 年 碧南市保健センター増築 140.8 m² (事務室・会議室)
- 平成 9 年 碧南市健康を守る会『30 年のあゆみ』発刊
- 平成 12 年 『碧南の保健 第三巻』発刊
- 平成 20 年 碧南市健康を守る会『40 年のあゆみ』発刊
- 平成 29 年 碧南市健康を守る会創立 50 周年記念
10 月 12 日 愛知県知事表彰
碧南市健康を守る会が、公衆衛生関係功労者として愛知県
知事表彰を受賞する
- 11 月 1 日 碧南市健康を守る会『50 年のあゆみ』発刊
山中寛紀守る会会長記念論文『碧南市民の健康カルテ』発刊
- 11 月 18 日 碧南市健康を守る会創立 50 周年記念講演会・記念式典を開催
碧南市善行表彰
碧南市健康を守る会が、市民の健康への関心を向上させ、市
内の保健事業を発展させた功績により碧南市善行表彰を受
賞する
- 平成 31 年 4 月 1 日 碧南市看護師会が碧南市健康を守る会へ参画

2 新保健センターの建設費

(1) 歳入 (財源内訳)

国庫補助金	36,268,000円
県費補助金	36,268,000円
市 債	114,000,000円
一般財源	447,903,000円
計	634,439,000円

(2) 歳出 工事別 (予算科目)

郵便局跡地土地購入費 (公有財産購入費)	99,594,000円
旧郵便局庁舎解体工事費 (工事請負費)	12,900,000円
設計委託料及び事務費 (委託料)	49,353,000円
新築工事費 (工事請負費)	418,618,000円
医療機器等備品購入費 (備品購入費)	53,974,000円
計	634,439,000円

(3) 増築工事費 (一部既存建物改修工事費含む)

①歳入 (財源内訳)

国庫補助金	15,000,000円
県費補助金	6,375,000円
一般財源	29,267,493円
計	50,642,493円

②歳出 工事別 (予算科目)

設計委託料 (委託料)	1,854,000円
増築工事費 (工事請負費)	47,390,300円
会議用机等備品購入費 (備品購入費)	1,398,193円
計	50,642,493円

3 保健センターの概要

(1) 位 置 碧南市天王町1丁目70番地

(2) 敷地面積 1,670㎡

(3) 建物概要 鉄筋コンクリート4階建 (H28の面積計算による変更)

建築面積 696.88㎡

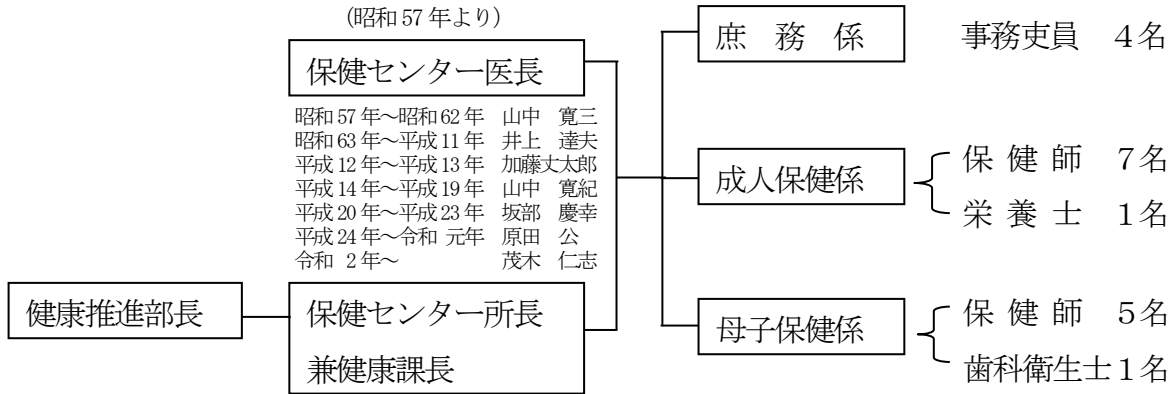
建築延面積 2,230.78㎡

附属建物 173.79㎡

(4) 施設概要

保健センター	1,081.78㎡
休日診療所	190.99㎡
碧南市医師会館・碧南市医師会臨床検査センター	523.08㎡
共用部分	434.93㎡

4 機 構 (令和4年4月1日現在)

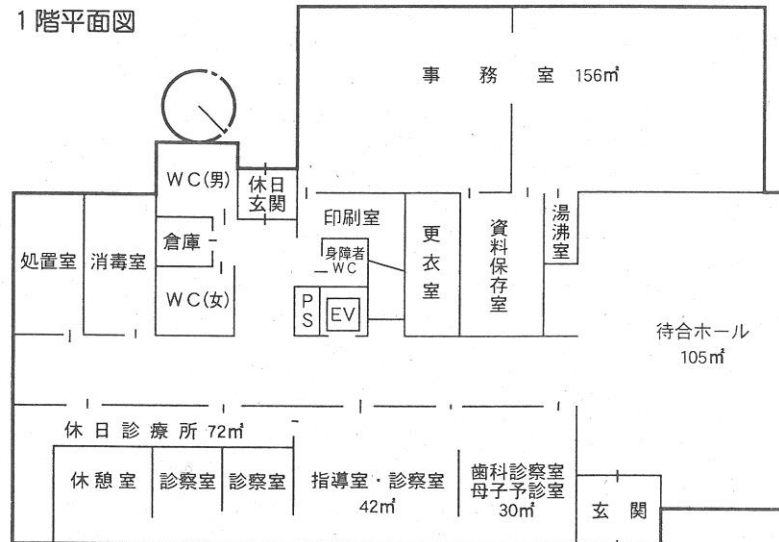


5 予 算

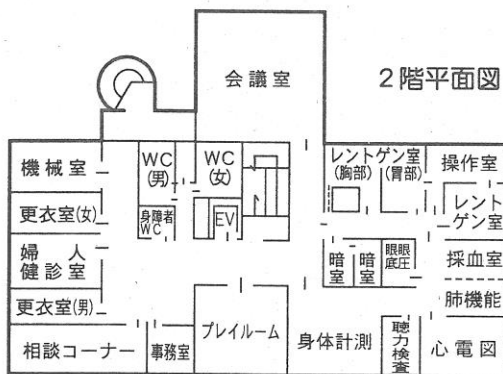
令和4年度健康課当初予算額 (人件費除く) 742,954千円

6 保健センター各室の案内図

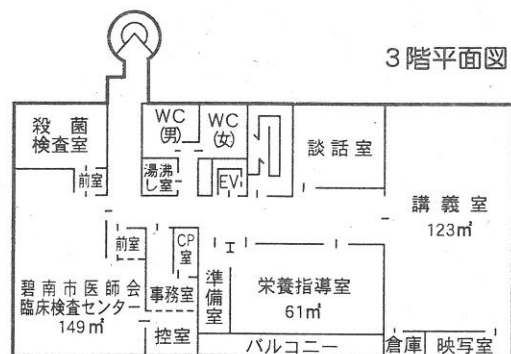
1階平面図



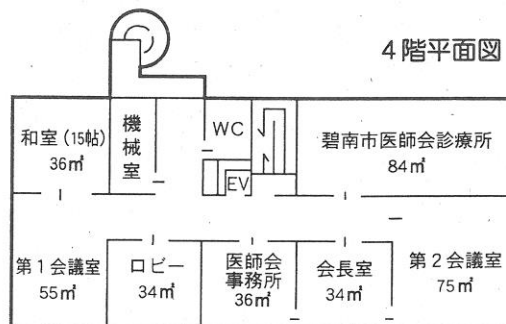
2階平面図



3階平面図



4階平面図 (碧南市医師会館)



7 保健医療関係協議機関等委員名簿

(1) 附属機関 (敬称略 順不同 ◎: 会長、○: 副会長)

① 碧南市保健センター運営協議会

(委員数20名以内、任期2年: 令和4年4月1日～令和6年3月31日)

- ・保健医療関係団体の代表者 = ○生田 譲、長田和久、茂木仁志、小林 学、岡村 誠、小町昭彦、齋藤英延、杉浦龍一、吉原直希、沢井智美
- ・保健関係行政機関の職員 = 丸山晋二
- ・福祉関係団体の代表者 = 杉浦邦俊、河原厚司、奥谷敏之
- ・識見を有する者 = ◎三島孝二、加藤悠里子、角谷直子

② 碧南市医療問題対策協議会

(委員数25名以内、任期2年: 令和4年4月1日～令和6年3月31日)

- ・保健医療関係団体の代表者 = ◎生田 譲、○長田和久、山中寛紀、齋藤英延、杉浦龍一
- ・保健関係行政機関の職員 = 丸山晋二
- ・医師 = 杉浦誠治、茂木仁志、板倉尚子、加藤文博、岡村 誠、榆 孝子、小林 学、山路和孝、西中康人

③ 碧南市休日診療所運営審議会

(委員数10名以内、任期2年: 令和4年4月1日～令和6年3月31日)

- ・保健関係団体の代表者 = ○生田 譲、長田和久、茂木仁志、板倉尚子、近藤浩晃
- ・識見を有する者 = 丸山晋二、◎三島孝二、永田知己、加藤悠里子
- ・市の職員 = 山田昌宏

(2) 碧南市健康を守る会関係

(会長1名、副会長4名、理事若干名、参与若干名、監事2名、委員若干名)

会 長 = 山中寛紀

副会長 = 生田 譲、齋藤英延、片伯部裕樹、沢井智美

理 事 (◎: 部会長、○: 副部会長)

総務部会 = ◎長田和久、○堀尾 静、○山田昌宏

献血推進部会 = ◎小林 学、○西中康人

生活習慣病予防部会 = ◎近藤浩晃、○鈴木 厚

母子保健部会 = ◎岡村 誠、○小町昭彦

歯科保健部会 =◎伊藤正幸、○長田 明、○三島知彦

健康教育部会 =◎原田 公、○榆 孝子

茂木仁志、板倉尚子、武光隆史、友原たき子

顧問= 瀬戸田政信、丸山晋二

参与= 鈴木並生、長田和徳、三島孝二、角谷直人、鈴木将大、沼田友博、
金沢宏治、生田弘幸

監事= 杉浦邦俊、石川 央

・会報編集委員会

◎小林明子、○杉浦宏樹、下村美幸、中西知加子、山田美恵子、河野恵理子

・組織統括委員会（令和4年度は未実施）

◎茂木仁志、○板倉尚子、山中寛紀、生田 讓、齋藤英延、片伯部裕樹、沢井智美

・保健センター運営専門委員会

◎茂木仁志、生田 讓、長田和久、山中寛紀、加藤丈博、板倉尚子、原田 公、
岡村 誠、田中浩人、小林明子、小町昭彦、齋藤英延、杉浦龍一、小林正人、
吉原直希、沢井智美

・保健センター常任委員会

◎茂木仁志、生田 讓、長田和久、山中寛紀、加藤丈博、板倉尚子、原田 公、
小町昭彦

8 保健医療関係等各種会議開催状況

（令和4年4月～令和5年3月）

会 議 名		開 催 日
	碧南市保健センター運営協議会	8月5日
	碧南市医療問題対策協議会	6月13日、8月25日、11月21日、3月20日
	碧南市休日診療所運営審議会	8月5日
碧南市健康を守る会	総 会	7月1日
	理 事 会	2月28日
	母子保健部会	7月12日
	献血推進部会	7月12日
	健康教育部会	7月19日
	総務部会	7月22日
	生活習慣病予防部会	7月22日
	歯科保健部会	7月22日
	会報編集委員会 179～182号	4月28日、6月9日、7月7日、8月4日、 9月1日、10月27日、12月1日、1月12日、2月2日
	碧南市保健センター 運営専門委員会	6月20日、11月24日、3月13日
	碧南市保健センター常任委員会	5月9日、7月25日、9月26日、1月30日